

令和2年度

まちの台所事情



町民のみなさんから納めていただいた税金などが、どのように使われ町の財政が運営されているか、令和2年度の決算の概要をお知らせします。

◆ 町民一人あたりに使ったお金
245万1千円 (前年:250万5千円)

◆ 町民一人あたりの町税納付額
17万円 (前年:17万2千円)

※計算基礎人口 4,969人
(令和3年3月末現在)

◆ 表1 令和2年度決算総括表

▲=マイナス

会計	区分	令和2年度	令和元年度	増減率
一般会計	歳入	109億 448万4千円	110億7,543万5千円	▲1.5%
	歳出	103億6,108万7千円	106億7,388万8千円	▲2.9%
国保会計	歳入	7億2,702万2千円	6億6,387万8千円	9.5%
	歳出	7億1,243万2千円	6億5,482万6千円	8.8%
後期高齢者医療会計	歳入	1億 926万1千円	9,745万7千円	12.1%
	歳出	1億 748万4千円	9,508万6千円	13.0%
介護保険会計	歳入	6億1,348万0千円	5億7,212万3千円	7.2%
	歳出	6億 575万9千円	5億7,207万2千円	5.9%
水道会計	歳入	1億8,840万0千円	1億8,458万2千円	2.1%
	歳出	1億8,788万2千円	1億8,397万6千円	2.1%
下水道会計	歳入	2億 601万0千円	2億4,314万3千円	▲15.3%
	歳出	2億 560万2千円	2億4,277万4千円	▲15.3%
総計	歳入	127億4,865万7千円	128億3,661万8千円	▲0.7%
	歳出	121億8,024万6千円	124億2,262万2千円	▲2.0%

令和2年度の決算は、6会計全体の収入で127億4865万7千円、支出では121億8024万6千円となり、収入は879万円の増(▲0.7%)、支出は2億4238万円の減(▲2.0%)となりました。翌年度に繰り越して使う財源を除いた実質収支は、5億3165万円の黒字となりました。このうち一般会計は、5億664万円の黒字決算となりました。

支出は、前年度から2.0%減少(表1)

の活性化を目指した取り組み等を行いました。

民生費では、新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために低所得者等の世帯に対し補助を行ったほか、高齢者や障がい者への支援を行いました。

衛生費では、新型コロナウイルス感染症予防対策やワクチン接種に向けた体制整備を行いました。

農林水産業費では、食品加工センター改修工事や農道整備を行いました。

商工費では、コロナ禍に伴い売上に大きく影響がでている各種事業者に支援を行いました。

土木費では、町道の整備や除排雪事業を行うとともに、定住促進対策として民間賃貸住宅建設への助成や子育てを行うための住宅新築・購入への助成を行いました。

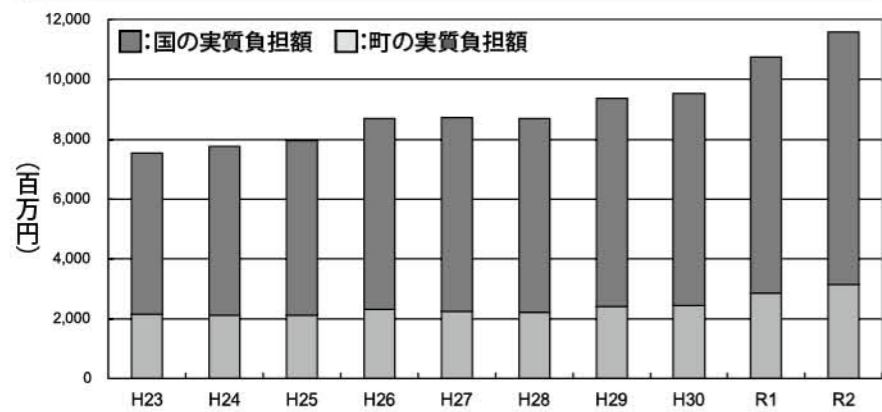
消防費では、新消防庁舎の建設を行いました。

教育費では、上土幌小・中学校のICT環境の整備、上土幌高校振興会への補助を行いました。

町が公共施設の建設や道路・下水道などの整備のため、国などから借りている借入金令和2年度末現在高は、特別会計を含む全会計で115億9587万円となり、ナイタイテラスの周辺整備や新消防庁舎建設に伴う新規借入により、前年度比8億4781万円の

借金総額約116億円(図2)
このうち町の実質負担額は約31億円

◆ 図2 町債(借入金)現在高の推移



増加しました(図2)。

しかしながら、本町が主に借入を行っている過疎対策事業債や臨時財政対策債は返済額の7割から全額が、返済時に国から交付される普通交付税に算入されるため、実質的な負担額はおよそ31億円となります。

◆ 表2 基金(積立金)現在高の状況

基金の名称	令和2年度末現在高	基金設置の目的
財政調整基金	21億7,320万7千円	災害や一時的な財源不足等の場合のための財源
ふるさと納税・子育て少子化対策基金	15億8,203万3千円	ふるさと納税の寄付金を財源とした子育て支援および少子化対策に用いる基金
公共施設整備基金	15億2,587万3千円	将来の公共施設の整備・解体撤去費用のための財源
減債基金	11億2,101万6千円	町の借入金の返済財源
ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金	3億5,403万6千円	ふるさと納税の寄付金を財源とした地域包括ケアの充実と生涯活躍のできるまちの実現のための財源
旧国鉄土幌線コンクリートアーチ橋保存基金	2億8,680万4千円	旧国鉄土幌線アーチ橋の保存対策および解体撤去の際の財源
社会福祉基金	1億5,541万2千円	援護を要する高齢者および重度障がい者等の福祉対策のための財源
土幌線代替輸送確保基金	1億1,816万4千円	旧土幌線の代替バスの赤字補てん・購入補助、交通公園等管理経費等
土地開発基金	1億 785万7千円	将来の公共施設用地の取得基金
学校教育施設整備基金	1億 758万3千円	学校教育施設の整備費用のための財源
その他(10基金)	2億6,464万7千円	
合計	77億9,663万2千円	

億9663万円となっています(表2)。

このほかに、基金と同様の取り扱いができるものとして、北海道市町村備荒資金組合納付金が約9億2600万円あります。

また、令和2年度は、企業版ふるさと納税を財源として、誰もが健康で、安心、充実して生涯を送ることができる

まちづくりを進めていくため、「ふるさと納税・地方創生基金」を新たに設置しました。

これらの積立金は、個々の設置目的に応じて将来のまちづくりのために活用していく財源として、これからも計画的に活用していきます。

◆ 図1 一般会計収支の内訳



【歳入】

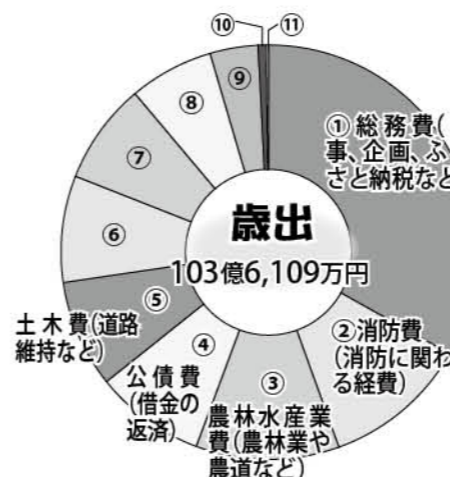
科目	決算額	構成比
① 地方交付税	30億9,922万9千円	28.5%
② 町債	18億1,573万5千円	16.7%
③ 寄付金	17億7,320万7千円	16.3%
④ 国庫支出金	11億3,685万5千円	10.4%
⑤ 町税	8億4,702万3千円	7.8%
⑥ 繰入金	7億3,593万2千円	6.7%
⑦ 道支出金	4億4,456万5千円	4.1%
⑧ 諸収入	4億1,452万2千円	3.8%
⑨ 地方譲与税	1億3,680万4千円	1.3%
⑩ 繰越金	1億3,542万8千円	1.2%
⑪ その他	3億6,518万4千円	3.2%
歳入合計	109億448万4千円	100.0%

一般会計(収入)(図1)

寄付金・地方交付税が増加、国庫支出金・道支出金・地方債は減少

前年度と比較し、ふるさと納税寄付金の増により寄付金が2億1770万円増加したほか、地方交付税が2億370万円増加しました。

一方、国庫支出金が2億9133万円、道支出金が7032万円減少したほか、



【歳出】

科目	決算額	構成比
① 総務費	34億3,437万2千円	33.1%
② 消防費	11億7,611万0千円	11.4%
③ 農林水産業費	11億5,748万6千円	11.2%
④ 公債費	8億9,095万1千円	8.6%
⑤ 土木費	8億6,930万0千円	8.4%
⑥ 教育費	8億6,196万3千円	8.3%
⑦ 民生費	8億1,821万9千円	7.9%
⑧ 商工費	6億8,218万1千円	6.6%
⑨ 衛生費	3億8,750万5千円	3.7%
⑩ 議会費	6,477万9千円	0.6%
⑪ その他	1,822万1千円	0.2%
歳出合計	103億6,108万7千円	100.0%

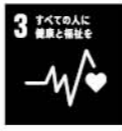
一般会計(支出)

総務費では、ふるさと納税による特産品の発送や生涯活躍のまち推進のために、物流課題の解決や地域経済活動

か、新規借入の減により地方債が2億3857万円減少し、歳入総額では1億7095万円の減少となりました。

気になる情報 ぴっぴアツアツ報

運転免許自主返納の 出張窓口を開設します



運転免許証の自主返納は、運転免許試験場または警察署のいずれかでを行う手続きとなっています。今回、加齢などで運転に不安を抱えている方が免許を返納しやすいよう、帯広警察署と連携し「運転免許自主返納出張窓口」を開設いたします。また、65歳以上の方で「運転経歴証明書」の交付を希望する方は、「高齢者運転免許自主返納支援事業」により、交付手数料(1,100円)を全額補助いたします。

【注意】①希望する方は、事前の予約が必要です(12月9日(木)までに町民課生活環境担当に申し込み)。②免許を返納するご本人が来場してください(ご家族の付き添いは可能です)。

- ◆日時 12月15日(水) 9時~12時
- ◆場所 上士幌町生涯学習センターわか 会議室2A・2B

- ◆申込期限 12月9日(木)
- ◆対象

上士幌町内に住所を有し現に居住している町民で、運転免許証を保有している方。



- ◆運転経歴証明書について

運転免許証の有効期間内に自主返納し返納した日から5年以内であれば、交付を受けることができます。なお、申請にあたり収入証紙(1,100円)が必要になります。予め町内の金融機関で収入証紙を購入し、当日会場までお持ち頂きますようお願いいたします。

- ◆写真
申請時に必要とする写真は当日会場で撮影いた

します。費用は無料です。なお、ご自分で撮影した写真を使用することも可能です。ご自分で撮影した写真を使用する場合は、当日会場までお持ちください。

※写真のサイズ 縦:3.0cm×横:2.4cm

- ◆その他

・運転経歴証明書は身分証明書としても使用でき、有効期限がありませんので更新の手続きも発生しません。

・申請してから交付まで1か月程度時間を要します。交付する際は、ご自宅まで直接お伺いしお渡しいたします。

- ◆予約申込・問い合わせ先

・自主返納に関する予約申し込み先
町民課生活環境担当 ☎2-4294
・自主返納に関する問い合わせ先
帯広警察署 ☎0155-25-0110

就学援助制度「入学準備金(新入学用品費)」の申請を受け付けます



就学援助のうち「新入学用品費」については、就学援助を受ける世帯の負担軽減のため入学前の年度に支給することができます(対象:小学1年生及び中学1年生)。このため、入学前年度である令和3年(2021年)度に申請が必要になりますので、必要とする方は次のとおり申請を行ってください。

なお、入学前年度の支給の必要がない方は、令和4年度に申請することができます。

- ◆支給金額 ※支給予定日:12月20日

- ・新小学1年生 51,060円
- ・新中学1年生 60,000円

- ◆申請方法

就学援助費入学準備金(新入学用品費)申請書に必要な事項を記入の上、11月19日(金)までに教育委員会教育推進課に提出してください。

※令和4年(2022年)度に新小学1年生、新中学1年生がいる世帯に申請書を配付いたします。

令和3年度に就学援助の認定を受けている世帯は、就学援助費入学準備金(新入学用品費)申請書のみとなります。初めて申請される場合は、「個人情報確認同意書」が必要となります。なお、令和3年1月2日以降に上士幌町民となった方は、前住地の所得証明書が必要となりますので、お問い合わせください。

- ◆就学援助を受けることができる方

上士幌町にお住まいの小中学校に通学されているお子さまの保護者で、次の項目に該当するご家庭が対象となります。

- (1)前年の世帯全員の総収入が、当該年度の生活保護法に基づく基準の1.3倍を基礎とした算定額を超えない世帯
- (2)「上士幌町就学援助認定要領」における給与対象者の各号いずれかに該当する方
認定要領は教育委員会またはホームページ上で配付

家族構成の参考例		所得のめやす
2人家族	母35歳・子11歳(小5)	約209万円未満
3人家族	父41歳・母38歳・子14歳(中2)	約250万円未満
4人家族	父36歳・母39歳・子13歳(中1)・9歳(小3)	約307万円未満
5人家族	父43歳・母38歳・子12歳(小6)・9歳(小3)・7歳(小1)	約362万円未満

※所得のめやす
①給与所得者の場合、源泉徴収票の「給与所得控除後の金額」欄の金額
②事業所得者の場合、「収入金額から必要経費を差し引いた金額」
※上表はあくまで「めやす」ですので、家族構成や住宅事情等により異なります。

※お問い合わせは、教育委員会教育推進課(☎2-3014)まで

ふるさと納税寄付金の使いみち

1 令和2年度のふるさと納税の寄付金受領実績

寄付別	件数	金額
個人版	104,020件	17億6,337万7千円
企業版	3件	580万円

※受領した個人版ふるさと納税は、特産品発送などの必要経費を差し引き、翌年度以降各種事業に活用します。また、企業版ふるさと納税とは、自治体が行う地方創生の取り組みに対する企業からの寄付(返礼品なし)のことで、個人版同様各種事業に活用します。

2 令和2年度のふるさと納税の主な活用事業実績

■子育て・教育【ふるさと納税・子育て少子化対策夢基金活用事業】

No.	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	子育て住宅建設費等助成事業	2,200万円	2,200万円	-	-	子育て世帯が建設または購入する住宅購入費用の一部を助成。
2	プログラミング教育推進事業	268万1千円	268万1千円	-	-	プログラミング教育の実施に向け、外部講師による授業研究およびICT環境の整備を図る。
3	学校教育充実事業	4,129万4千円	4,129万4千円	-	-	小・中学校の少人数学習環境の整備や子どもたちの心のケアを図るための教職員の配置。
計26事業			1億3,545万5千円	※その他の未記載の事業を含みます		

■保健・医療・福祉・介護【ふるさと納税・生涯活躍いきがい基金活用事業】

No.	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	生涯活躍のまち上士幌創生包括プロジェクト事業	7,577万9千円	2,273万2千円	1,712万3千円	3,592万4千円	安心して豊かな生活が送れるよう、地域包括ケアの充実等、生涯活躍のまちを推進。
2	緊急通報システム設置事業	139万6千円	139万6千円	-	-	独居高齢者等を対象に緊急通報システムを設置し、生活不安の解消を図る。
3	三愛介護サービス事業推進経費	1,776万5千円	1,114万5千円	-	662万円	在宅の要介護高齢者に町独自のサービスを提供し、自立支援および家族の負担軽減を図る。
計9事業			6,245万2千円	※その他の未記載の事業を含みます		

■保健・医療・福祉・介護

No.	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	福祉灯油等支給事業	437万円	330万円	57万円	50万円	在宅で生活する低所得高齢者世帯等への冬の生活支援。
2	障害者地域生活支援事業	1,056万4千円	290万円	327万円	439万4千円	障がい者が地域で生活するための地域活動支援センターや、権利擁護センターへの補助。
3	女性がん検診普及啓発キャンペーン事業	286万8千円	110万円	176万8千円	-	女性がんに対する正しい知識の普及と検診受診率の向上により、予防を図る。
計23事業			3,809万1千円	※その他の未記載の事業を含みます		

■農業・林業

No.	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	土壌病害虫対策事業	345万7千円	300万円	45万7千円	-	土壌病害虫による農作物被害の発生を抑制し、収穫作業の省力化と収益性の確保を図る。
2	畜産飼料作物増産対策事業	941万1千円	940万円	1万1千円	-	粗飼料不足等の対策として、デントコーンの受託栽培への補助を行う。
3	林産業振興対策事業	1,456万円	1,000万円	219万4千円	236万6千円	経営合理化や担い手対策により、林業・木材産業の振興を図る。
計16事業			7,466万7千円	※その他の未記載の事業を含みます		

■商工・観光

No.	事業名	総事業費	寄付金活用額	一般財源	その他の財源	事業内容
1	商店街等情報発信対策事業	2,631万3千円	89万5千円	2,336万9千円	204万9千円	商店街等におけるWi-Fi整備により、観光客の商店街の利用促進を図る。
2	観光施設維持管理経費	1,774万円	811万4千円	764万円	198万6千円	各観光施設等の整備等を行い、観光客受け入れの充実を図る。
3	ぬかびら源泉郷冬季観光客誘致事業	1,320万円	100万円	1,220万円	-	ぬかびら源泉郷地区における冬季観光客の誘致を図る。
計11事業			2,900万9千円	※その他の未記載の事業を含みます		